

# 放射線検査説明・相談指針

～ 適切な医療行為をおこなうために ～

## 一、爽やかな笑顔と挨拶を実践します

「専門職」である前に「社会人」としての行動が必要です。爽やかな笑顔と挨拶をもって患者さんと接し、話と相談がしやすい環境と信頼関係を構築しましょう。

## 二、簡潔で明瞭な言葉で説明します

理解と納得をいただけるように適切でわかりやすい説明が必要です。患者さんごとに理解度の幅があることを踏まえた対話をしましょう。

## 三、不安や疑問を安心と安全にかえます

患者さんとその家族は、常に不安や疑問を抱いています。相手の立場に自身を置換えた行動や対応が必要です。患者目線の接遇を心がけましょう。

## 四、チーム医療に貢献します

我々、診療放射線技師はメディカルスタッフの一員です。患者中心のチーム医療へ最善を尽くした連携と協働を実践しましょう。

## 五、診療放射線技師としての責任をまっとうします

放射線の専門家であることを自覚するとともに、検査に係る事柄を含め、入室から退出まで検査すべての最終実施者として責任を果たしましょう。

